

阪南大学経営情報学部水野学研究室チームが 「Student Innovation College 2015」 で総合優勝を飾りました！

2016年10月9日に立命館大学いばらきキャンパスで開催されたSカレ総合優勝戦において、「もらってうれしい段ボール小物」テーマの覇者として参加した経営情報学部 水野研究室のチームC. Clover flが他のファイナリスト6チームを抑え見事に優勝し、27大学30ゼミ 130チームの頂点に立ちました！

(西川貴之さん【阪南大学高校卒業】、泉 和輝さん、西岡勇希さん、小島 峻さん)

(参加大学：一橋大、名古屋市大、和歌山大、関関同立他)

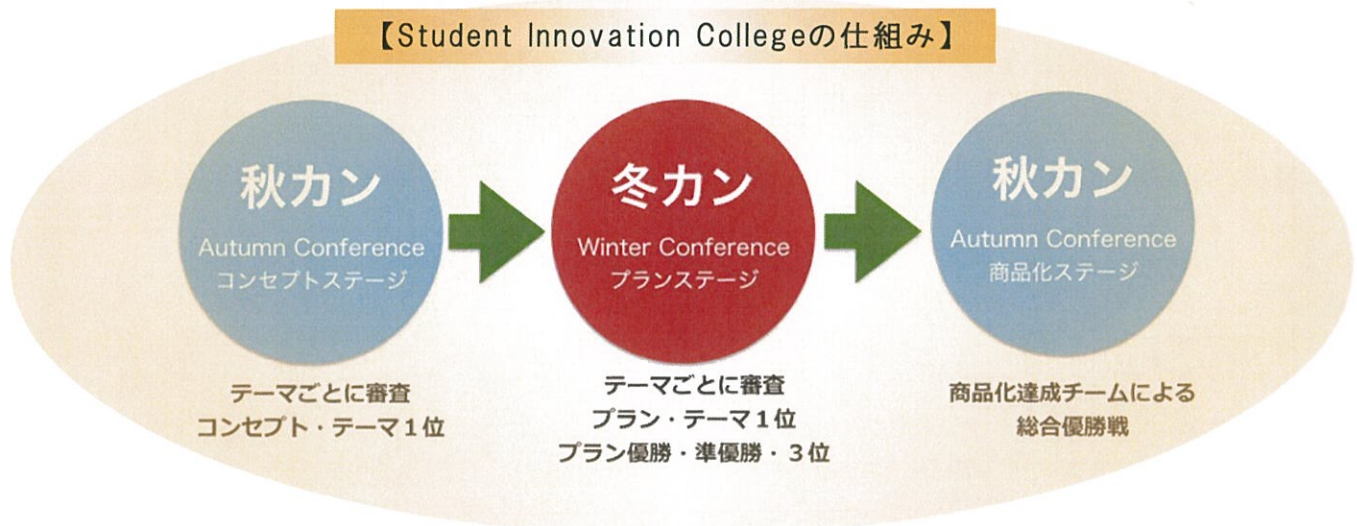


写真左側から二人目が阪南大学高校卒業生 西川さん

Sカレとは、全国の大学が1年間にわたって繰り広げる、商品開発コンテストのことで、参加できるのは大学3年生だけです。3～4人が1チームとなって、提示されたテーマの中から1つを選択し秋カンファレンスにおいて、企業の人たちに商品コンセプトをプレゼンテーションします。ここで企業の人たちから厳しい指摘やアドバイスを受け、学生たちは企画の修正や変更を行います。加えて、その商品が実現したら具体的にどのような売り方やプロモーションを行うのかという、マーケティングプランも同時に考えていきます。その企画を持ち寄り、再び企業の方々にプレゼンテーションするのが冬カンファレンスです。

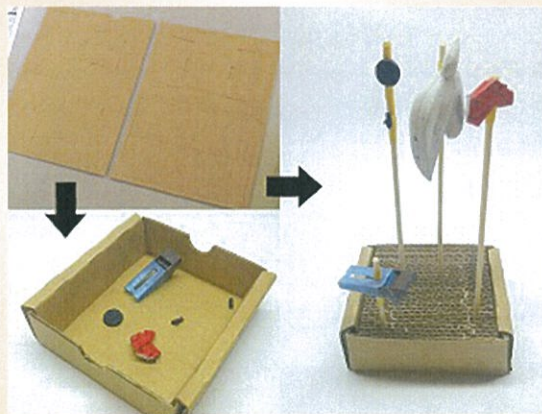
テーマごとに1チームの優勝プランが選ばれます。選ばれた企画は商品化の権利も同時に得ることになります。しかしそれはあくまでも権利だけで、ここからスポンサー企業とともに商品化作業に取りかかります。量産化に耐えられるようなデザインの変更や売り先の開拓、プロモーションの計画など、企業の商品開発と同じプロセスを体験します。そして実際に商品化を達成したチームのみが、翌年の秋カンファレスと同時に開催される真のチャンピオンを決める総合優勝戦に駒を進めることができるという過酷なコンテストでの受賞でした。

【Student Innovation Collegeの仕組み】



チームC. Clover flの西川貴之さん、泉 和輝さん、西岡勇希さん、小島 峻さんの4人が提案した商品は、プラモデルの塗装作業がスムーズになる商品で、パーツを塗装した後の乾燥スペースがない、細かなパーツを整理する場所がないという不満を解消するというニッチ商品です。メンバーは丹念なりサーチの結果、確かにニッチ市場ではあるが、一方でこの不満を解消することへのニーズは非常に強いことを発見。段ボールが持っている加工のしやすさ、使い勝手のよさなどと組み合わせ商品企画につなげました。

上新電機で配布された「B-SKET」



今回、水野ゼミの学生が開発した商品「B-SKET」が上新電機株式会社に採用され、2016年7月30日より全国のJoshinキッズランド168店舗にて、取扱いが開始されました。さらにこの商品は、ユーザーに直接販売するのではなく、プラモデル販売店の販促ツール、いわゆるノベルティグッズとして企業に販売するというB to B用途としました。これはこれまでのSカレではなかった、画期的な発想として評価されました。